

事務事業評価シート

事務事業コード	008700	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	相談支援事業		所属名	福祉部 障がい福祉課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	運営方法	外部委託
	相談員数		21人	21人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	相談支援事業費		予算事業コード	01-03-01-13-10-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	障がい者、その保護者、介護者など
意図 (どのような状態にするために)	福祉サービスの利用等について、相談支援・調整等を行う相談支援事業所を設置し、障がいのある人の地域生活への移行及び定着を積極的に推進する。
手段 (どうするのか)	相談支援事業は、障害者総合支援法に基づき市町村が主体となって実施する地域生活支援事業に位置づけられており、市内6か所に相談支援事業所(業務委託)を設置し、相談を受けたり、関係機関等との調整を行う。 また、平成27年度より基幹相談支援事業所を新たに設置した。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		指定相談支援事業所(6事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託	指定相談支援事業所(6事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託	指定相談支援事業所(6事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託	指定相談支援事業所(6事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託	指定相談支援事業所(6事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託	指定相談支援事業所(8事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託
年度別実績		相談支援事業所への業務委託 ・指定相談支援事業所6か所(延べ34,788件の相談に対応) ・基幹相談支援事業所1か所(基幹相談支援事業所では住民の個別相談は行わない)	相談支援事業所への業務委託 ・指定相談支援事業所6か所(延べ37,818件の相談に対応) ・基幹相談支援事業所1か所(基幹相談支援事業所では住民の個別相談は行わない)	相談支援事業所への業務委託 ・指定相談支援事業所6か所(延べ38,377件の相談に対応) ・基幹相談支援事業所1か所(基幹相談支援事業所では住民の個別相談は行わない)	相談支援事業所への業務委託 ・指定相談支援事業所6か所(延べ36,669件の相談に対応) ・基幹相談支援事業所1か所(基幹相談支援事業所では住民の個別相談は行わない)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	93,269	93,300	93,484	96,299	0	
	直接経費 A	90,700	90,700	90,900	93,725	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	37,570	37,247	38,796	32,978	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	53,130	53,453	52,104	60,747	0		
人件費 B	2,569	2,600	2,584	2,574	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	相談件数(H27年度)	件	目標	33285
			実績	34788	37818	38377	36669	0
	(指標の説明) 相談支援事業所が対応した相談件数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】自立支援係 0857-30-8218</p> <p>【10次総の施策体系】1303</p> <p>【事業の経過及び背景】 障害者自立支援法の施行により、相談支援事業は、この法律に基づき市町村が主体となって実施する地域生活支援事業に位置づけられ必須事業となっている。 また、平成26年度より、申請時にサービス等利用計画の提出が必須となった。</p> <p>【事業の目的及び効果】 市内6箇所の指定相談支援事業所に本市の相談支援事業を委託し、障がいのある人が、地域で安心して生活していくために必要となる、各種サービス利用等のための相談支援・調整等を行う体制を整備し、障がいのある人の地域生活の定着及び移行を積極的に推進する。 また、平成27年度より基幹相談支援事業所を設置し、鳥取市社会福祉協議会に業務を委託。本事業所は他の相談事業所をはじめとするサービス提供事業所の連携強化や技能向上を目的とし、障がい福祉サービスの質の向上を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基幹相談支援事業所設置(2人) (人件費)4,750千円×2人+(事務費)200千円+300千円×2人=10,300千円 2 指定相談支援事業所に相談支援業務を委託(16.5人) 「障がい者支援センターそよかぜ」、「障害者支援センターしらはま」、「相談支援センターサマーハウス」、「相談支援事業所アプローズ」、「地域生活支援センターみんなの家」、「和貴の郷」の6事業所 (人件費)4,750千円×11人+4,550千円×5.5人+(事務費)6事業所×200千円+300千円×16.5人=83,425千円 <p>【事業の実績(過去3年)】</p> <p>平成29年度実績 90,700千円 平成30年度実績 90,900千円 令和元年度 実績 93,725千円</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	相談件数(H27年度)	105%	114%	115%	110%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>障害福祉サービスの提供を希望する者の増加により、相談支援専門員の負担が増大しているため、委託相談事業所を増やすことを検討している。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>各相談支援事業所や基幹相談支援センターが連携を取り、障害福祉サービス等に関して必要な支援を行うことにより、障がい者等の自立した日常生活や社会生活の維持・向上が図れている。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>障がい者等の自立した生活を支援するために障害福祉サービスの提供を希望する者が増加しており、この傾向は今後長期に渡るものと見込まれる。このため、相談支援事業所の業務は増加している。また、権利擁護制度の活用等を利用しなければ支援できない困難事例も増加傾向にあるため、問題解決に向けて高い専門性を有する相談支援員が必要とされている。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	障がい児を育てる地域の支援体制整備事業		所属名	福祉部 障がい福祉課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	鳥取市要医療障がい児者在宅生活支援事業(重症心身障がい児者等受入事業所医療機器購入助成)補助金交付要
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	運営方法	補助金交付
	相談員数		21人	21人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	障がい児を育てる地域の支援体制整備事業費			予算事業コード	01-03-01-03-50-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	医療専門職を配置している児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、生活介護事業所、就労継続支援B型事業所、日中一時支援事業所
意図 (どのような状態にするために)	在宅で生活する医療ケアが必要な障がい児者の受け入れを行う。
手段 (どうするのか)	必要な医療機器の購入について支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績	医療機器整備助成 助成事業所:1事業所 助成額合計:1,000千円	医療機器整備助成 助成事業所:1事業所 助成額合計:1,000千円	医療機器整備助成 助成事業所:なし	医療機器整備助成 助成事業所:なし	医療機器整備助成 助成事業所:1事業所 助成額合計:1,000千円	医療機器整備助成 助成事業所:1事業所 助成額合計:1,000千円
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,722	732	724	2,438	0	
	直接経費 A	1,000	0	0	1,000	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	500	0	0	500	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	500	0	0	500	0		
人件費 B	722	732	724	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	医療機器が充足された事業所数(累計)	事業所	目標	6	7	8	9	10
				実績	6	6	6	7
2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8218</p> <p>【10次総の施策体系】 1303</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 事業別概要なし</p> <p>【事業の概要】 補助金名 鳥取市要医療障がい児者在宅生活支援事業(重症心身障がい児者等受入事業所医療機器購入助成)補助金 目的 医療専門職を配置し、日常的に医療行為に必要な障がい児者を受け入れる事業所に対して、必要な医療機器購入に要する経費を助成する。 内容 1事業所あたり100万円以内 補助対象者 児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、生活介護事業所、就労継続支援B型事業所、日中一時支援事業所</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 なし 平成30年度 なし 令和元年度 1事業所 1,000千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 医療行為が必要な障がい児者の受け入れのニーズは高まっており、事業所の受け入れ体制を整備するため、県と協働して事業を継続する必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	医療機器が充足された事業所数(累計)	100%	86%	75%	78%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	医療機器を整備した事業所は、1事業所増加したが、令和元年度の目標は達成できなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>医療機器を整備した事業所は、1事業所増加したが、平成29年度及び平成30年度に実績がなかったため、結果として令和元年度の目標は達成できなかった。医療行為が必要な障がい児者の受け入れのニーズは高まっており、事業所の受け入れ体制を整備するため、県と協働して事業を継続する必要がある。なお、令和2年度は、事業実施予定の事業所があるため、達成率は目標どおりとなる予定である。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	008900	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	重度障がい者(児)タクシー料金助成事業		所属名	福祉部 障がい福祉課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成5年度～全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	鳥取市重度障がい者タクシー料金助成事業実施要項
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	運営方法	その他
	相談員数		21人	21人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	重度障がい者(児)タクシー料金助成費			予算事業コード	01-03-01-03-17-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	身体障害者手帳1・2級、療育手帳 又は精神障害者保健福祉手帳1級を所持する者で所得税及び住民税非課税のもの
意図 (どのような状態にするために)	重度障がい者の日常生活の利便性向上と社会参加を支援し、もって障がい者福祉の向上を図る。
手段 (どうするのか)	タクシー利用券を月4枚交付。1枚あたり、初乗り運賃相当額(650円を限度)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 タクシー利用券の交付 交付者数:1,100人 交付枚数:21,559枚 H28年度見込	平成29年度 タクシー利用券の交付 交付者数:1,200人 交付枚数:22,551枚 H29年度見込	平成30年度 タクシー利用券の交付 交付者数:1,200人 交付枚数:22,551枚 H29年度見込	令和元年度 タクシー利用券の交付 交付者数:1,200人 交付枚数:22,551枚 H29年度見込	令和2年度 タクシー利用券の交付 交付者数:1,200人 交付枚数:22,551枚 H29年度見込	
	年度別実績	タクシー利用券の交付 交付者数:1,091人 交付枚数:21,183枚	タクシー利用券の交付 交付者数:1,164人 交付枚数:21,589枚	タクシー利用券の交付 交付者数:1,119人 交付枚数:21,144枚	タクシー利用券の交付 交付者数:1,211人 交付枚数:20,482枚		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,679	12,889	14,091	13,796	0	
	直接経費 A	11,957	12,157	13,367	13,077	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,957	12,157	13,367	13,077	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	交付者数	人	目標	1100	1200	1200	1200	1200	
				実績	1091	1164	1119	1211	0	
	(指標の説明) 交付は希望(申請)者に対し行うもの。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】障がい者福祉係 0857-30-8455</p> <p>【10次総の施策体系】1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P63(福023)</p> <p>【事業の概要】 重度障がい者の日常生活の利便向上と社会参加の拡大を支援するため、タクシー料金の一部を助成する利用券を交付し、障がい者福祉の増進を図る。 ・対象者：身体障害者手帳1・2級、療育手帳A又は写真が貼り付けてある精神障害者手帳1級を所持する者で所得税及び住民税非課税の者 ・交付枚数：月4枚(申請月に応じて交付) ・助成金額：令和元年度より1回あたり初乗り運賃相当額(650円を限度とする。)</p> <p>【事業の成果】 (扶助費) 平成29年度 1,164名交付 21,589枚利用 12,019千円 平成30年度 1,119名交付 21,144枚利用 13,229千円 令和元年度 1,211名交付 20,482枚利用 12,937千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 重度障がい者の日常生活の利便と社会参加の拡大を図るものであり、今後も継続して行う必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成率	1	交付者数	99%	97%	93%	101%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	当初目標1,200人に対し、1,211人に交付した
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	当初目標1,200人に対し、1,211人に交付した

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>重度障がい者の日常生活の利便と社会参加の拡大を図るものであり、今後も継続して行う必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	009000	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	重症心身障がい児者等日中支援事業		所属名	福祉部 障がい福祉課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市重度障がい児者支援事業 補助金交付要綱
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	運営方法	補助金交付
	相談員数		21人	21人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	重症心身障がい児者等日中支援事業費			予算事業コード	01-03-01-03-51-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	重症心身障がい児者に対して生活介護、放課後等デイサービス事業による支援を行う事業所
意図 (どのような状態 にするために)	在宅で生活する重症心身障がい児者の活動を支援すること及び保護者の負担、不安を軽減すること並びに重症心身障がい児者の支援体制の充実を図るため。
手段 (どうするのか)	重症心身障がい児者に対して受け入れを行っている生活介護事業所、放課後等デイサービス事業所に対し支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 重症心身障がい児者 受け入れ施設補助 ・生活介護事業所：6 事業所 ・放課後等デイサービ ス事業所：5事業所	平成29年度 重症心身障がい児者 受け入れ施設補助 ・生活介護事業所：7 事業所 ・放課後等デイサービ ス事業所：9事業所	平成30年度 重症心身障がい児者 受け入れ施設補助 ・生活介護事業所：7 事業所 ・放課後等デイサービ ス事業所：8事業所	令和元年度 重症心身障がい児者 受け入れ施設補助 ・生活介護事業所：7 事業所 ・放課後等デイサービ ス事業所：9事業所	令和2年度 重症心身障がい児者 受け入れ施設補助 ・生活介護事業所：7 事業所 ・放課後等デイサービ ス事業所：7事業所	
	年度別実績	重症心身障がい児者 受け入れ施設へ補助交 付 ・生活介護事業所：6 事業所 ・放課後等デイサービ ス事業所：5事業所	重症心身障がい児者 受け入れ施設へ補助交 付 ・生活介護事業所：7 事業所 ・放課後等デイサービ ス事業所：9事業所	重症心身障がい児者 受け入れ施設補助 ・生活介護事業所：7 事業所 ・放課後等デイサービ ス事業所：8事業所	重症心身障がい児者 受け入れ施設補助 ・生活介護事業所：7 事業所 ・放課後等デイサービ ス事業所：10事業所		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	22,461	26,639	27,388	29,804	0	
	直接経費 A	21,739	25,907	26,664	29,085	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	10,869	12,954	13,332	14,543	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,870	12,953	13,332	14,542	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		重症心身障がい児者を受け入れる事業所数	事業所	目標	11	14	16	16	17
			実績	11	16	16	17	0	
	2	(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)								
			目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0		

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】自立支援係 0857-30-8455</p> <p>【10次総の施策体系】1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P63(福024) 12月補正・P8(福003)</p> <p>【事業の概要】 重症心身障がい児者等を支える事業所や支援者が少ない現状の中で、保護者等は精神的・身体的に大きな負担を抱えている。また、保護者が高齢化し、保護者や本人が親亡きあとの生活に不安を抱えている中で、受け皿となる事業所(生活介護・放課後デイサービス事業所)の増加を促進し、持続的な運営を支援することが必要となっている。重症心身障がい児者等がより地域で生活しやすくするため、日中活動の場における支援の充実を図る。</p> <p>補助対象：生活介護事業所、放課後等デイサービス事業所において、重症心身障がい児者等の日中支援を行う社会福祉法人等</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 生活介護事業所7事業所 放課後等デイサービス9事業所 25,908千円 平成30年度 生活介護事業所7事業所 放課後等デイサービス8事業所 26,664千円 令和元年度 生活介護事業所7事業所 放課後等デイサービス10事業所 29,085千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 重症心身障がい児者を受け入れる事業所の充実を図ることは重要であり、継続していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	重症心身障がい児者を受け入れる事業所数	100%	114%	100%	106%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	重症心身障がい児者の活動支援及び保護者の負担軽減並びに重症心身障がい児者の支援体制の充実のために、今後も継続して支援する必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	009100	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	国民健康保険団体連合会負担金等事業		所属名	福祉部 障がい福祉課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	運営方法	その他
	相談員数		21人	21人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	国民健康保険団体連合会負担金等		予算事業コード	01-03-01-13-16-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	障害者総合支援法に係る介護給付費、訓練等給付費及び障害福祉サービス等の精算
意図 (どのような状態 にするために)	障害福祉サービス費の支払いを迅速かつ正確に行う。
手段 (どうするのか)	障害福祉サービス費として居宅介護などの介護給付費、自立訓練などの訓練等給付費、相談支援事業の一環としての利用計画作成費、施設入所者等に対する特定障害者特別給付費等について、電子請求システムを活用し、鳥取県国民健康保険団体連合会経由での精算方式を行うための手数料及び負担金を支払う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			障がいのある方が利用した障害福祉サービスに係る費用を負担する。	障がいのある方が利用した障害福祉サービスに係る費用を負担する。	障がいのある方が利用した障害福祉サービスに係る費用を負担する。	障がいのある方が利用した障害福祉サービスに係る費用を負担する。	障がいのある方が利用した障害福祉サービスに係る費用を負担する。
	年度別実績	延べ39,615件、4,129,338千円の支払いを行った。	延べ40,465件、4,240,787千円の支払いを行った。	延べ41,273件、4,345,977千円の支払いを行った。	延べ42,661件、4,556,758千円の支払いを行った。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,131,504	4,242,983	4,348,150	4,558,915	0	
	直接経費 A	4,129,338	4,240,787	4,345,977	4,556,758	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,092,373	3,175,148	3,253,539	3,402,599	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,036,965	1,065,639	1,092,438	1,154,159	0		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				鳥取県国民健康保険団体連合会負担金	千円	目標	4129338	4240787
	(指標の説明) 障がいのある方が利用した障害福祉サービスの実績による負担で目標値設定が困難なため実績での管理を行う。		実績	4129338	4240787	4345977	4556789	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 障害者福祉係 0857-30-8217</p> <p>【10次総の施策体系】 1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P67(福032)</p> <p>【事業の概要】 障害福祉サービス費として居宅介護などの介護給付費、自立訓練などの訓練等給付費、相談支援事業の一環として実施するサービス利用計画作成費、施設入所者等に対する特定障害者特別給付費等を、鳥取県国民健康保険団体連合会経由での精算方式を用いて負担金として支出する。</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 延べ40,465件 4,240,787千円 平成30年度 延べ41,273件 4,345,977千円 令和元年度 延べ42,661件 4,556,758千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 障害福祉サービス費の支給は、障がい者がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援することにつながり、今後も継続して行う必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	鳥取県国民健康保険団体連合会負担金	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	障がい者がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な障害福祉サービス費の支給を行った。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	障がい者がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な障害福祉サービス費の支給を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>障害福祉サービス費の支給は、障がい者がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援することにつながり、今後も継続して行う必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	035000	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	盲ろう者支援センター運営事業		所属名	福祉部 障がい福祉課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	運営方法	その他
	相談員数		21人	21人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	盲ろう者支援センター運営事業費			予算事業コード	01-03-01-13-10-19

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取県盲ろう者支援センター
意図 (どのような状態 にするために)	視覚と聴覚に重複して障がいがある者(盲ろう者)の福祉の増進を図る。
手段 (どうするのか)	盲ろう者向け通訳・介助員の養成および派遣に必要な支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績			盲ろう者向け通訳・ 介助員養成事業 盲ろう者向け通訳・ 介助員派遣事業	盲ろう者向け通訳・ 介助員養成事業 盲ろう者向け通訳・ 介助員派遣事業	盲ろう者向け通訳・ 介助員養成事業 盲ろう者向け通訳・ 介助員派遣事業	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,667	6,450	0	
	直接経費 A	0	0	4,943	5,731	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	1,909	1,691	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	3,034	4,040	0		
人件費 B	0	0	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	利用登録者数	単位	人	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実績	0	0	6	5	6		
	(指標の説明) 鳥取市に居住する利用登録者数											
	2	通訳・介助員養成講習会修了者	単位	人	区分	目標	0	0	6	1	1	
					実績	0	0	6	0	0		
	(指標の説明) 鳥取市に居住する講習会修了者数											
3				目標	0	0	0	0	0	0		
				実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)												

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8455</p> <p>【10次総の施策体系】 1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 視覚と聴覚に重複して障がいがある盲ろう者に対して、盲ろう者向け通訳・介助員を派遣し、盲ろう者の意思疎通、情報獲得及び移動等を支援する。また、盲ろう者向け通訳・介助員として必要な技術習得の指導を行う。</p> <p>【事業の成果】 ・盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業 平成30年度 利用登録者数 5名 令和元年度 利用登録者数 6名</p> <p>・盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業 平成30年度 講習会修了者数 6名 令和元年度 講習会修了者数 0名</p> <p>【今後の課題・方向性】 盲ろう者に対して支援を行うことは重要であり、継続していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	利用登録者数			83%	120%	
	2	通訳・介助員養成講習会修了者			100%		
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>通訳・介助員養成講習会の開催場所によって、講習終了者数に差が出ている。平成30年度:東部、令和元年度:西部、令和2年度:中部</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>盲ろう者の福祉の増進のために、今後も継続して支援する必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	035100	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	聴覚障がい者意思疎通支援事業		所属名	福祉部 障がい福祉課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	運営方法	その他
	相談員数		21人	21人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	聴覚障がい者意思疎通支援事業費			予算事業コード	01-03-01-13-10-20

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
意図 (どのような状態 にするために)	きこえない・きこえにくい人の福祉の増進を図る。
手段 (どうするのか)	手話通訳者の養成及び設置・派遣、要約筆記者の養成及び設置・派遣に必要な支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画			手話通訳者養成研修 事業 手話通訳者設置・派 遣事業 要約筆記者養成研修 事業 要約筆記者設置・派 遣事業	手話通訳者養成研修 事業 手話通訳者設置・派 遣事業 要約筆記者養成研修 事業 要約筆記者設置・派 遣事業	手話通訳者養成研修 事業 手話通訳者設置・派 遣事業 要約筆記者養成研修 事業 要約筆記者設置・派 遣事業	
	年度別実績			手話通訳者養成研修 事業 手話通訳者設置・派 遣事業 要約筆記者養成研修 事業 要約筆記者設置・派 遣事業	手話通訳者養成研修 事業 手話通訳者設置・派 遣事業 要約筆記者養成研修 事業 要約筆記者設置・派 遣事業		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	28,186	27,267	0	
	直接経費 A	0	0	27,462	26,548	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	10,604	7,312	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	16,858	19,236	0		
人件費 B	0	0	724	719	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標	1	手話通訳者・要約筆記者の派遣件数	件	目標	0	0	900	900	900
				実績	0	0	976	991	0
	(指標の説明)								
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】自立支援係 0857-30-8218</p> <p>【10次総の施策体系】1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P67(福031)</p> <p>【事業の概要】 聞こえない・聞こえにくい人に対して、手話通訳者・要約筆記者を派遣し、必要な意思疎通支援を提供する。また、手話通訳者・要約筆記者に必要な技術習得を目的とした指導を行う。</p> <p>【事業の成果】 ・手話通訳者・要約筆記者派遣事業 平成30年度 手話通訳者等派遣件数 390件 18,067千円 令和元年度 手話通訳者等派遣件数 381件 16,954千円</p> <p>・手話通訳者・要約筆記者養成研修事業 平成30年度 9,395千円 令和元年度 9,594千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 聞こえない・聞こえにくい人に対して支援を行うことは重要であり、継続していく必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	手話通訳者・要約筆記者の派遣件数			108%	110%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>聞こえない・聞こえにくい人の福祉の増進のために、今後も継続して支援する必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	035200	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	社会福祉施設等施設整備事業		所属名	福祉部 障がい福祉課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	社会福祉施設等施設整備費国 庫補助金交付要綱
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	運営方法	直営
	相談員数		21人	21人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	社会福祉施設等施設整備事業費			予算事業コード	01-03-01-13-29-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	平成30年度中核市移行に伴い、市内の社会福祉法人、NPO法人、営利法人等が、グループホーム等障がい福祉関係の改修等の施設整備を行う事業に対し、国庫補助制度を活用し助成を行う。
意図 (どのような状態にするために)	市内障がい福祉関係の社会資本の整備を促進するため。
手段 (どうするか)	施設整備に必要な工事費及び工事事務費の一部を助成する。国1/2 市1/4 事業主体1/4 一般公募後、社会福祉審議会心身障がい福祉専門分科会で優先順位を決定し国庫補助申請する。国庫補助が決定した法人へ補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画			グループホーム1施設、生活介護・放課後デイサービス施設1施設の創設を見込んでいたが、29年度補正時、県予算で対応済みとなった。	障がい者支援施設等大規模修繕3施設、グループホームの大規模修繕(スプリンクラー設備)1施設の補助金交付予定。	障がい者支援施設の改築1件(2施設を1つに統合)、グループホームの創設1件の補助金交付予定。	
	年度別実績			国の30年度補正予算に伴い放課後デイサービスが補助対象となり交付決定を受けた。しかし、年度内に工事が完了しなかったため明許繰越となった。	障がい者支援施設等大規模修繕3施設のうち2施設は、年度内に工事が完了しなかったため翌年度に明許繰越となった。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	2,173	49,374	0	
	直接経費 A	0	0	0	47,217	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	31,478	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	15,739	0		
人件費 B	0	0	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	施設整備件数	件	目標	0	0	1	4	2	
				実績	0	0	1	2	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】自立支援係 0857-30-8218</p> <p>【10次総の施策体系】1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P68(福033) 6月補正・P13(福008) 2月補正・P2(福001)</p> <p>【事業の概要】 平成30年度中核市移行に伴い、鳥取県が行っていた事業を引き継ぎ行う。グループホーム等市内障がい福祉関係の社会資本の整備を促進するため、国庫補助制度を活用し、施設整備事業を行う事業者に対して助成を行う。</p> <p>【事業の成果】(鳥取市内 事業実績) 令和元年度 2件 47,217千円 (翌年度繰越額 1件 165,083千円)</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も、国の社会福祉施設等施設整備費国庫補助金を活用し、不足している障害福祉サービスの施設整備を推進する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	施設整備件数			100%	50%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	資材調達等に時間を要したため。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	資材調達等に時間を要したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

今後も国の社会福祉施設等施設整備費国庫補助金を活用し、不足している障害福祉サービスの施設整備を推進する必要がある。

事務事業評価シート

事務事業コード	035300	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	難病等医療費助成事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	難病の患者に対する医療等に 関する法律
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	運営方法	直営
	相談員数		21人	21人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	難病等医療費助成事業費			予算事業コード	01-04-04-05-01-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域(鳥取市、岩美郡、八頭郡)の難病患者
意図 (どのような状態 にするために)	医療費の負担軽減を図る
手段 (どうするのか)	受給者証を交付し医療費の一部について公費負担を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績			受給者証の申請受付 及び交付 受給者数1,538名(H3 1.31現在)、 新規申請 217件 更新申請 1,406件	受給者証の申請受付 及び交付 受給者数1,644名(R1 1.31現在)、 新規申請 261件 更新申請 1,506件	受給者証の申請受付 及び交付	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	14,837	13,556	0	
	直接経費 A	0	0	7,594	6,366	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	7,593	6,365	0
一般財源	0	0	1	1	0		
人件費 B	0	0	7,243	7,190	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	3.00	3.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	申請に対する処理件数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			件	目標	0	0	1623	1650	0	
			実績	0	0	1623	1650	0		
	2	(指標の説明)			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0	
	3	(指標の説明)			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0		

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8532</p> <p>【10次総の施策体系】1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・なし</p> <p>【事業の概要】 難病の治療が困難であり、かつ、長期療養を要するために医療費の負担が高額となる疾病について、その患者の医療費助成を県が行う。本市は、この支給認定等の手続きに関する事務を行う。 指定難病の患者の医療費の一部を県が公費負担をしている。難病患者が継続的に治療を受けるための医療費補助に加え、貴重な治療データの蓄積に繋がり、原因の究明、治療方法の開発等への寄与が期待できる。</p> <p>【事業の成果】 特定医療費（指定難病）の医療費助成に関する事務 平成30年度 受給者数 1,561名（H31.3.31現在） 令和元年度 受給者数 1,647名（R2.3.31現在）</p> <p>【今後の課題・方向性】 難病患者が継続的に治療を受けるための医療費補助に加え、貴重な治療データの蓄積に繋がり、原因の究明、治療方法の開発等への寄与が期待できるため、引き続き事業を継続する。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	申請に対する処理件数			100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	適時、受給者証を交付した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	申請を受けて、適正に受給者証を発行し、治療促進等を図った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>難病患者が継続的に治療を受けるための医療費補助に加え、貴重な治療データの蓄積に繋がり、原因の究明、治療方法の開発等への寄与が期待できる。</p>		